



インドネシア

ジョグジャカルタ探訪録

JAMU発祥の地を訪ねて

肌寒い11月の日本を飛び出し、“薬草を使った美容健康法JAMU(ジャムウ)”の源流を調査すべく、発祥の地インドネシア・ジョグジャカルタを目指しました。インドネシアではどの様に人々の生活に息づいているのか、その歴史や文化をより深堀りしたい!そんな想いから始まった今回の旅。

オランダ統治時代の面影を残す町並みに、ひっそりと佇む1950年創業の老舗店。自然環境を活かしながら地域との結び付きや歴史文化を伝える薬草園。全ての体験が新鮮で、私たちが研究している“JAMUという文化”を、より深く学ぶことができました。



YOGYAKARTA



オーナーセラピスト井上の
JAMU修行記 Vol.2

「アロマトークLAB(note)」も
ぜひご覧ください!



老舗JAMU店「Jamu Gingga」

インドネシアでは、あちこちに「JAMUカフェ」があります。最近では、生活の中でも手軽に飲めるように、より飲みやすく、よりオシャレに楽しめるお店が増えています。その中でもこの「JAMU GINGGANG(ジャムウ・ギンガン)」は超老舗!なんと1950年創業!その昔、王宮の中で王様や妃様のために調合していた方が創業したそう。



「ジャムウ・ギンガン」のオーナーさんと

私自身、少し喉の調子が悪かったので、「風邪に効くJAMUドリンク」を作って貰いました。ショウガやミント、はちみつなどが入っていて、辛い中にもミントの爽快感で飲みやすい!夕方近くになると仕事帰りの現地の方が続々と来店します。きっと普段から一日の疲れをリセットする習慣が根付いているんだなと改めて実感できました。



JAMUのエッセンスを落とし込んだ
アロマトークオリジナル商品



インドネシアの美容法でも使用される米粉・サンダルウッドを配合。角質を滑らかにしながらも潤いしっとり!冬の乾燥にもおすすめです。
200g/¥3,850

JAMUスクラブ <ボレ>



JAMUハーブガーデン「Naturindo」

ジョグジャカルタ市街地から車で約1時間、森の中に突如現れる壮大なJAMUガーデン「Naturindo(ナチュリンド)」。
ここではドリンク作りに挑戦!私自身、バリ島でのワークショップに参加したこともあって、主要な作り方は把握していたつもりでしたが、まだまだ知らなかったことばかり!ハーブの選別法、切り方にも細かい工程があることなど、改めて勉強になりました。日本では見られない沢山のハーブも見ることができ、1日では時間が足りないくらい。ここでの経験を、次作のJAMUシロップ開発に活かしたいと思います。



ホテルの朝食ビュッフェにもJAMUドリンクが

その他にも、町を歩けば屋台、宿泊ホテルのレストランメニューに、スーパーやコンビニにも普通に並んでいる数々のJAMU。改めて人々の生活の中に根付き、健康を支えているんだなと実感!もともと代々親から子へと受け継がれる、家族の健康を守るもの。私自身も、お客様、共に働くスタッフ、そして家族と共に、“JAMUという文化”を楽しみながら、これからもセラピストとして皆の健康を守るお手伝いできれば良いと思います。

伝統的なジャムウ・ゲンドンの
衣装を着せてもらいました!

★Jamu Gendong (ジャムウ・ゲンドン)とは?

インドネシアで、ボトルに入れた伝統的な「JAMUドリンク」をかごに入れ、背負って売り歩く女性達のこと。「ゲンドン」とは「背負う」の意味。



JAMUシロップ WEDANG JAHE

トリートメント後のアフターティーでもおなじみのジンジャーシロップ。身体の内側からポカポカに!
200ml/¥1,944



JAMUフェイスオイル

JAMU由来の植物エキスを配合。抗炎症作用、抗酸化作用が期待できるので、ホームケアでのマッサージやスキンケアにおすすめ!
200ml/¥4,180

